

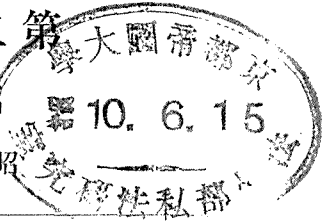
(大正五年四月六日第三種郵便物認可) 昭和十年五月廿五日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 二 十 二 卷 第 六 册

第 二 百 三 十 一 號

昭和十年六月一日發行



積極的事實について……………文學士 赤松元通

プラトーンに於ける知識への道(承前)……………

……………長澤信壽

集合論の所謂「矛盾」に就て……………文學士 近藤洋逸

彙報、其他……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
- 一、毎年公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士		
天野	岩井	植田	白井	小島	木村	九鬼	田邊	中井	西谷	野上	羽溪	波多	服部	本田	山内
貞祐	勝二	壽藏	二尙	祐馬	素衛	周造	邊元	正一	啓治	俊夫	了諦	野精	英次	義英	得立

前 號 目 次

歴史的認識(承前).....	文學士 高坂正顯
プラトーンに於ける知識への道.....	長澤信壽
最近に於ける精密自然科學の基礎の變革.....	ハイゼンベルク 理學士 原光雄 譯
雜 錄.....	

會 告

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
 一、會員ニテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版印刷株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪叁〇六六三番 内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本社ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候
 京都帝國大學 文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

● 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版印刷株式會社へ御申込下され度候
 ● 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候
 ● 振替貯金にて御送金の際は(振替大阪三九三一番東京三九三一番)内外出版印刷株式會社宛に願上候
 ● 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ● 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊	數	定 價	郵 稅
一冊	冊	金四拾錢	壹錢
六冊(前金)	冊	金貳圓四拾錢	不申
十二冊(前金)	冊	金四圓八拾錢	不申

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

昭和十年五月廿五日印刷納本
 昭和十年六月一日發 行 第二百三十一號 第二十卷 第六册

京都帝國大學文學部内

不許復製
 禁 轉 載

編輯者 京都哲學會
 右代表者 服部英次郎
 發行者 須磨勘兵衛
 印刷者 須磨勘兵衛
 印刷所 内外出版印刷株式會社
京都市西洞院通七條南入
京都市北小路通程町西入

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版印刷株式會社

振替口座 大阪三二九五五番
 東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南入
 販賣所 東京市日本橋區本銀町三ノ十四 内外出版印刷株式會社

賣 捌 所

(東京) 寶文館 北隆館 寶文館 共盛社
 (大阪) 寶文館 北隆館 寶文館 共盛社
 (神戸) 寶文館 北隆館 寶文館 共盛社
 (京都) 寶文館 北隆館 寶文館 共盛社
 東京堂 東海堂
 上田屋 參文社
 盛文館
 川瀬書店
 大盛社

西田哲學

「西田哲學」への絶好の指導書

西田幾多郎博士の哲學は現代日本に於て世界的意義を有する唯一の體系であり、以後我國に於ける哲學の發展にとつて一大傳統となるべきものである。ただ博士の天才的思索は深遠にして一般人の容易に近づき難きことを歎ぜられた。今、茲に篤學なる著者に依て西田哲學の根本思想に明晰透徹なる敘述が與へられる。本書は、西田哲學への良き案内者であり、之を手引として西田哲學を理解することは現代人の最善の教養である。

内容目次 序説 第一章自然界―判斷的―一般者の世界―(場所 個物 變化)
第二章意識界―自覺的―一般者 世界―(意識 自覺 意志 直觀) 第三章事實界―行爲的―一般者の世界―(事實 表現 身體 時間) 第四章人格界 無の一般者の世界―(愛 自由 我と汝 環境) 第五章現實世界―辯證法的―一般者の世界―(序論 辯證法 生命 精神 文化 宗教) 第六章哲學(知の立場 希臘哲學 獨逸哲學 生の哲學)

京都帝大文學部講師

高山岩男著

四六判四二二頁
紙裝假綴
定價一・〇〇送・一二

西田幾多郎著

善の研究	一・八〇
思索と體驗	一・八〇
自覺に於ける直觀と反省	三・三〇
意識の問題	三・三〇
藝術と道徳	三・三〇
働くものから見るものへ	三・三〇
一般者の自覺的體系	三・八〇
無の自覺的限定	三・五〇
哲學の根本問題(行爲の世界的)	〇・八〇
哲學の根本問題(辯證法的)	〇・八〇

岩波書店

東京 神田 橋
振替 二六二
東 〇四
京

(大正五年四月六日)昭和十年五月廿五日印刷納本(毎月一回)
第三種郵便物認可(昭和十年六月一日發行)

哲學研究 第二百三十一號 定價金四拾錢

郵税金壹錢